

スクールソーシャルワーク研究会しが 9月研修会のお知らせ

テーマ

「子どもとの対話を広げていくために」

～子どもの声を聴くとは？ “聴いているつもりが・・・”

主催 スクールソーシャルワーク研究会しが

2024年 9月 28日 (土)

◇時間 13:30～16:00

◇場所 県立男女共同参画センター G-NETしが (2階:研修室)
(近江八幡市鷹飼町80-4 TEL.0748-37-3751)

☞ワークショップ 「RJサークル (修復的対話)」

今回も、前半は、参加者の近況の交流を兼ねた「RJサークルのワークショップ」を行います。

☞ワークショップ 子どもの「声」を大切にするために③

“対等な関係って何だろう”

前半のワークショップを受けて、後半では、前々回に引き続き「子どもの声を聴く」ために何ができるのかについて考えます。子どもの声を聴いているつもりで聴けていなかったことに気づいた経験、気になる子ほど声を聴かせてくれなくて困った経験等、参加者の身近な経験も振り返りながら、「声」を大切にするための関係づくりの基本について考えます。

特に今回は、家庭での「親-子」の関係、教室の中の「教師-児童・生徒」の関係を始めとする、人間関係に含まれる「権力」の問題について考えることを通じて、対等な関係とはどのようなものかについて理解を深めていきたいと思えます。当日は、上記について、池田華子さん(大阪公立大学)から話題提供したうえで、参加者との意見交換を予定しています。

人間関係に含まれる権力の問題は、前回扱ったマイクロ・アグレッションとも関連します。また、支援者と被支援者との間に生まれる広い意味での「暴力」(直接の虐待や暴力だけでなく、過度な期待、価値観の押しつけや抑圧などを含む)にどう向き合っていくのかといった点も話題にできればと思っています。このような日常にある「暴力」を防ぐ(軽減する)ためには、「対話」が重要です。RJの基本原則にもつながってくるところだと思えます。(池田さん)

修復的対話(Restorative Justice)とは ...

いじめなど人間関係におけるトラブルを対立や排除という方法ではなく、トラブルによって影響を受けた者が一同に会し、対話によって平和的に問題を解決すると同時に、トラブルの予防をも含んだプロセスです。

そこでの約束事は、

- ① お互いを尊重する ② 話をよく聞く
 - ③ 相手を非難しない ④ 話せない、話したくないときはパスしてもよい
- であり、すべての過程で「人間尊重」を基本的な価値としています。(上からの強制ではなく、当事者ひとり一人の自主性と問題解決能力で予防・解決をめざします。)

+++++

◇参加費 会員 800円 (「SSW研究会しが」2024年度会員登録済みの方)
一般 1,000円

◇参加の申し込み方法

お名前・所属・住所・連絡先を記載して
ホームページ・FAXでお申し込みください。

- ① ホームページ <https://kancyan-house.com>
(「お問い合わせ」or「スクールソーシャルワーク研究会しが」のサイトをご利用ください。)
- ② FAXの場合 FAX 番号:0748-46-3283

◇問い合わせ等

問い合わせ先 090-3708-3315
(スクールソーシャルワーク研究会しが 事務局:佐子)

